

社全協関西ネットワーク主催

第19回社会教育フォーラム

枚方の社会教育と聞けば、「枚方テーゼ」（1963年）を想起される方もおられるかと思います。

1980年には、枚方に「市立公民館」をつくる会が結成され、その後市民による公民館づくり運動のなかで、公民館の建設・設置が進められてきました。しかし、2005年には、市から公民館廃止、生涯学習市民センター化が打ち出され、社会教育法に依らない市民センター化が実行され、現在に至ります。今日の公民館・社会教育の再編問題を考えるうえで、歴史的な経験を有するまちの事例と考えられます。

社会教育研究所は、1983年に居を枚方と定めつつも、全国的な視野で社会教育の情報収集・研究・成果の刊行・講演会など多彩な活動を展開し、2007年には『枚方市の公民館廃止・生涯学習市民センター化資料』を刊行しています。研究所の活動は、2003年に社全協関西ネットの発足で、「発展的に解消」されていきます。

本フォーラムでは、社会教育研究所に今一度光を当て、思想史としての戦後社会論の視座から枚方の社会教育を研究する和田悠氏からの問い（講演）と、研究所を担った当事者との応え（全体協議）を公開ヒヤリングのような形式で、広く学習機会として開催します。関心のある方は、自由にご参加ください。

対面参加は、会場定員(24名)の都合上、会員(社全協関西ネット)を優先させていただきます。

【参加無料、事前申し込みが必要です。5/20日(金)申し込みしめ切り】

日時：2022年5月22日(日)14:40～16:50

(受付、オンライン入室は、14:30～)

場所：大阪府教育会館たかつガーデン3階菊の間（大阪市天王寺区東高津町7-1）

テーマ：枚方の社会教育の経験史ー社会教育研究所の研究活動を軸に

講師：和田悠(わだ ゆう)氏（立教大学文学部教育学科教授）

申し込み方法：Googleフォームからお申し込みください。右のQRコードもしくは、
<https://forms.gle/6qx2Mdg8drEPi2Yw7> からお願いします。



問い合わせ・連絡先:和歌山大学村田研究室 kam@wakayama-u.ac.jp

電話 073-457-7166 Fax 073-457-7167

▶社会教育推進全国協議会関西ネットワーク（略称:社全協関西ネット）とは

権利としての社会教育の実現をめざして、関西地域での横のつながりを図ろうと2003年に発足した社会教育を推進する民間団体。住民、公民館職員、研究者等で構成されています。あなたもいっしょに学び合い、活動しませんか。

代表:村田和子（和歌山大学教授）